

次号予告

特集 混雑に挑む

- 道路ネットワークの渋滞マネジメント……………和田健太郎（筑波大学システム情報系）
数理計画法で解く首都圏電車の混雑—2020東京オリンピック開催時，どうなる—
……………田口 東（中央大学理工学部情報工学科）
大規模イベントにおける人流解析—withコロナ社会に必要とされる研究課題—
……………大西正輝（産業技術総合研究所人工知能研究センター）
オープンデータ・ビッグデータを用いた混雑予測
……………岡野宙輝・小田中育生（（株）ナビタイムジャパン）
交通渋滞にMaaSで挑む—カシマースとガマース—
……………大澤義明（筑波大学システム情報系），伊藤 高・金澤隆介（茨城県土木部），
中田浩二（鹿島アントラーズFC），徳田伊織・下津大輔（筑波大学社会学専攻）

メーリングリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメーリングリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orjs.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

編集後記

●今月号の特集は「金融工学の広がり」でした。2020年の4月より改称された東京都立大学・金融工学研究センターのメンバーの方々にご寄稿いただきました。同センターの精力的な活動ぶりが窺えるものだったのではないのでしょうか。

●金融工学では、リスクをいかに制御できるかという点が研究の主題の一つであろうと思います。昨年来、台風などの風水害や今般の新型コロナウイルスによる被害、もっと日常的に交通事故や病気などわれわれの生活は常になんらかのリスクにさらされています。一方で、リスクを恐れるあまりに何も行動しなければ、得られるものはゼロではないにしてもほとんどなくなってしまおうでしょう。リスクを定量化して、過剰に恐れることなく、過少に侮ることなくコントロールしていくことが肝要です。

●意識してなのか否かはわかりませんが、このところの人々の反応が両極端に分かれているように思えます。リスクの感じ方は人それぞれなので、極端に感じる人だけが声を上げているのかもしれませんが。理性的な判断をするように心がけていきたいものです。

●理性的な判断を下すためには、正確な情報が求められます。あやふやな情報ならまだしも、誤った情報からは高い確率で誤った結論が導かれてしまうでしょう。どうも最近では表に出てくる情報に信頼性がおけないようなこともあるようですが。

●正確な情報（データ）に基づいて判断をくだす（モデル）。ひょっとして、ORとは人生そのものなのではないでしょうか？

（鶴飼孝盛）

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 繁野 麻衣子（筑波大学）

特集担当編集委員 山本 零（慶應義塾大学）

委員 朝日 弓未（東海大学）、伊豆永 洋一（神奈川大学）、井床 利生（IBM基礎研究所）、井家 敦（神奈川工科大学）、鶴飼 孝盛（防衛大学校）、大竹 恒平（東海大学）、加藤 怜（公益財団法人鉄道総合技術研究所）、小林 隆史（立正大学）、佐久間 大（防衛大学校）、笹谷 俊徳（東京ガス株式会社）、猿渡 康文（筑波大学）、高野 祐一（筑波大学）、生田目 崇（中央大学）、野々部 宏司（法政大学）、蓮池 隆（早稲田大学）、原田 耕平（株式会社NTTデータ数理システム）、吉田 琢史（株式会社東芝）

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

令和2年7月号 第65巻 第7号 通巻715号

代表者 田口 東

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 繁野 麻衣子

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。

・本誌への広告のお申込みは、明報社（Tel 03-3546-1337）へ。